



小堀文彦

こほり ふみひこ



海外で出版された本のイラストも手がけている

絵本、図鑑や教科書等でイラストを見かけた人も!

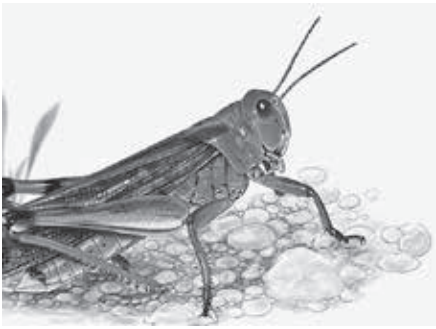
北本市にお住まいの小堀さんは、絵本や図鑑で昆虫等の生きものの挿絵を描いているイラストレーター。お名前をご存知ない人でも、イラストは見たことがあるかもしれません。今回はご本人にインタビューし、どうして絵を描くことになったのか、小堀さんから見た北本市の自然の魅力について伺いました。

出版社に自分で売り込んだ

小学校に通っていた頃から、メタリックな羽や美しい色など、昆虫が大好きでした。大人になり、写真のレタッチ(写真の修正加工)の仕事をしていましたが、出版社に自分が描いた昆虫の絵を持ち込み売り込んだところ、良い評価をいただけて仕事をもらえるようになりました。それまで、絵を専門的に勉強したり、学校に通ったりしたことはなかったのですが、独学と持ち前の昆虫の知識を活用し、今の画風にたどり着きました。

偶然と技術の融合

イラストの参考資料にするため、毎日昆虫の写真を撮りに出かけています。撮影したいと思った昆虫に、その日必



ず出会えるとは限りませんが、道端や林の中で偶然出会うのがほとんどです。そうして見つけた昆虫に、気づかれないようにそっと近づき、飛んだ瞬間を連写します。千枚単位の写真の中に、偶然と技術が合わさって「これだ」と思う写真があった時はとても嬉しいですね。

写真を参考にしながら、媒体に合わせて、構図を決めてイラストの描き方を変えています。

昆虫の魅力を伝えたい

昆虫は、種類によっては人に好かれるものとそうでないものがありますが、私はどんな昆虫もかわいいと思っています。あまり知られていない昆虫の美しいところ、かっこいいところをイラストで伝えていきたいと思っています。



北本自然観察公園は「聖地」

小さい頃は、桶川市に住んでいました。現在は住宅地ばかりですが、昔は雑木林がたくさんあり、いろんな生き物と遊んでいました。北本市に住んだのは大人になってからです。住宅地に緑が部分的に残されている、昆虫や鳥は集まりませんが、緑が回廊のように繋がっていると、豊かな生態系が育まれます。北本市は北本自然観察公園や緑のトラスト保全第8号地があつて、県内外の自然愛好者の間では「聖地」として有名です。これからも北本市の自然を残していけるといいですね。ほぼ毎日、昆虫の飛んでいる瞬間を求めて出かけています。北本の森でお会いしましょう。



昆虫愛を語る小堀さん

北本市は小堀さんの今後の活躍を期待し応援していきます。

▶小堀さんの撮った写真などをもっと見たい人は…

Facebookアカウント

小堀文彦 / Fumihiko Kobori

小堀文彦

検索

ホームページ

